

磐城時報

日八十
編輯人 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
一部金貳圓 一月金拾圓
廣告料 一行十二字 五十日
日刊(日曜祝祭日) 翌日休刊

二十三日から行はれる 防空演習實施要項

警報傳達の訓練

防空演習は二十三日より四日間行はれるが、本市の實施要項左の如くである。
△日時 昭和十三年二月二十三日午前九時より昭和十三年二月二十六日午後九時まで
△訓練内容 警報傳達
△訓練の目的 防空計畫に基づき陸海軍司令官の發する防空警報の迅速確實に傳達するを主眼とする
△訓練實施決定行事
二月二十三日(自午前九時三十分頃至午後九時頃) 警報は發令及解除各(四回)
一、縣廳警報を受領してより警察署長を通じて通信電話を以て本部に至る迄の警報傳達
二、(各應警報受領より所屬機關端末に至る迄の警報傳達)
二月二十四日(自午前九時頃至午後九時頃)
一、前日の行事中一部通信施設破壊せられたる場合の警報傳達
二、(三百人以上の職工を使用する工場等及電氣事業者への警報傳達)
二月二十五日(自午前七時三十分頃至午後八時三十分頃)
一、前二日の系統に依り

警察官異動

平署關係分十名 佐藤警部補署長に榮轉

十八日縣下警察官の大異動で平署關係分左の如く司法主任佐藤廣氏は保原署長に榮轉された。
平署次席警部 猪狩 兎義
依願免本官
會計巡查部長 金子千代吉
同 警務課 花見 勢八
任巡查部長平署へ
平署警部補 佐藤 廣
保原署長 郡山部長
平署 平塚喜代助
若松部長 坂本 義夫
平署へ

竹原大佐 未教育者査閲

福島縣隊司令部竹原大佐は十六日午後六時より四倉小學校に於て時局に關する今日丁度その慰問日、同封講演會を開催し、尙昨十七致しました金額は誠に輕少

少年詮衡

縣警務課では二十日午前十時から平第三小學校で郡内の滿蒙開拓青少年義勇軍志願者の詮衡を行ふ。

第一線の息子から 母親に感謝の拾圓

上遠野村大字瀧田務(二五)君は目下支那第一線で活躍してゐるが、實家には母サト(五五)さん一人きりで小作農を営んでゐる。舊年末にサトさんは何とか工

出征軍人の子供に 同情した篤志家

十八日平市役所に左の如きですが自分で働いた金です書面に十圓を添え軍事後援の御子様方を慰むる何か會に寄附して来たが、筆蹟に使用頂けましたら自分のこの気持ちを汲んで頂ける

四倉國婦 傷病兵慰問

日午前十時より四倉、久野濱二町、大浦、大野、草野神谷、大久五ヶ村の在郷軍人中未教育者百餘名を四倉國婦人會四倉分會に於て倉小學校講堂に召集して若松、飯坂兩衛生病院に於て傷病兵の爲に白衣十五着を新調して分會長新妻サト

市中野記者 戦況講演

福島民友新聞社市中野記者は来る二十日左の如く兩角部隊從軍報告演説會を開く。
二十日
午前十時 湯本三國座
午後一時半 片倉製糸

切次曲乘團員 平市に入り込む

東京市淺草區月町オートバイに乗團員自稱鈴木利男(三三)は去る十日郡山市鐵工業佐藤次孝方に泊つた際同人所有の現金三十三圓並にオートバイ附屬品二個五圓を窃取逃走、なほ同宿人の二十圓紛失も同人の仕業でないかと佐藤から平署に捜索方を願ひ出た。

昭和人絹の 水銀泥公判

錦村昭和人絹工場から水銀一萬圓を盗んだ事案の公判は十七日午後一時平區淺間裁判所、富澤檢事係りで開き左の如く求刑があつた。十と親戚一同から平署に捜索方を願ひ出た。

惠比壽講用 小鯛。金頭

當地方近海大暴雨のため魚類品不足につき東京中央市場から
惠比壽講用
小鯛。金頭
豊富に仕入れました
是非御用命下さ。
平市土橋
仙魚店
二六六電



二六六電

ツルハシで 同僚を刺す
飯石塚市太郎(二〇)と喧嘩しツルハンで市太郎の左腕を刺し三週間を要する傷を負はせ平署の取調べをうけた。

出征を 知らぬ父親
新潟縣南蒲原郡加茂町日雇業吉澤平次郎(六六)は昨年十月十三日以來行衛を晦ま

腫物の妙薬 八方散
水野藥局
平市 電六九九

ベークライト 職工見習募集

一、募集人員 三十名
 二、年齢 十四歳以上二十歳迄の男子
 三、待遇
 十四才、十六才日給 七十五銭
 十七才、十八才 八十銭
 十九才、二十才 一圓
 技術修得ト共ニ漸次昇給ス
 一、寄宿舎ノ設備アリ、賄料ハ實費
 一、申込所 平市職業紹介所
 詳細ハ平市職業紹介所に紹介され度シ
 東 市大森區大森町
 入新井町七丁目二六一
 シクニ工業所
 電話六九〇九番



味の塩屋

福島縣平市
 電話 營業部専用一〇番
 二番 電話二七番
 三番 電話一九七五番
 明治生命 警城代理店 山崎與三郎

一、煉炭 各種 特價販賣
 一、豆炭 薪炭大暴騰ノ折カラ御家庭ノ經濟燃料トシテ御勵メ致シマス

阿部石炭商店
 電話三十七番

おまほほ大造

折詰仕出

お惣菜用さつま揚・吉原揚
 平町一丁目
 電話一四一番

和洋鋼鐵金物問屋

大金屋商店

諸橋入太郎
 電話九九番

産科 婦人科 外科 藥局

院長 木村寅次郎
 醫學博士 内本宗八
 藥劑師 大岩俊雄
 平市新川町十九
 木村病院
 電話一六四番

三井質店

平市四丁目
 電話六〇六番

北川外科

平市新川町二七
 醫學博士 北川芳夫
 技師 三浦常保
 電話四六四番

平病院

平市警察署側 (元共濟病院跡)
 院長 醫學博士 鈴木定藏

開院廣告 電六四一番

診療時間 毎日午前八時ヨリ午後九時迄
 夜間診療ニ從事ス
 往診隨時 (急患ハ此ノ限リニアラス入)
 病室完備 入院隨時 (自炊ノ便アリ)
 入院料 一日 特等貳圓、一等壹圓五拾錢
 二等壹圓參拾錢

院長 醫學博士 鈴木定藏
 部長 醫學士 木下基一
 部長 醫學士 池谷宗三郎
 部長 醫學士 鈴木定藏
 部長 醫學士 岡田重德
 部長 醫學士 吉本孝平

高久病院

平市田町 (電話五二三番)

院長 高久忠
 副院長 赤羽清
 藥局長 佐竹菊雄

內科 小兒科 外科 花柳病科
 耳鼻咽喉科 (看護婦募集)

恐るべき悪疫防止に
 安全、確實な内服ワクチンを
 おすゝめ致します

三共製チフス内服ワクチン

大人一人分二〇セン (小兒二人分)
 ……十五歳以上の方から大人の量です…
 三共株式會社製品總代理店
 西村屋藥局
 平市本町二丁目 (電話三番)

耳鼻咽喉科

大和田醫院
 平市南町 (電話一七〇番)
 入院自炊の便あり

安齋醫院

平市田町
 電話四七五

新設
 內臟外科 院長 安齋徹
 エツキス光線
 産婦人科 醫學士 黒澤廣

花柳病専門

木村外科醫院
 平市六丁目
 電話三〇九番